

令和4年度青少年のネット利用実態調査結果(概要)

1 調査の概要

調査対象：県内の小学校、中学校、高等学校の児童生徒約1,500人とその保護者、計約3,000人

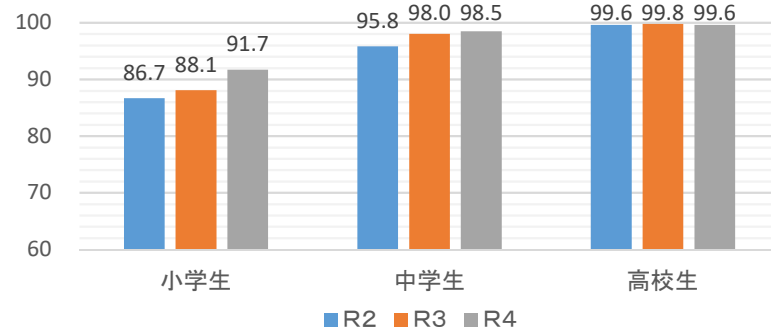
調査方法：対象者に合わせて、質問項目や内容、表現を調整して調査票(小学生・中高校生・保護者の3種類)を作成し、紙面による調査を行った。

調査時期：令和4年9月

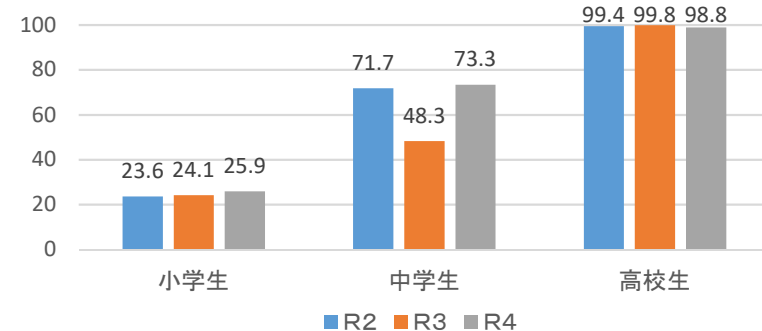
調査内容：①インターネットを利用する機器、内容、環境 ②インターネット利用による生活の変化 ③インターネット利用時のトラブル等と相談
④フィルタリングの利用状況と家庭のルール ⑤保護者自身のインターネット利用に関すること

2 インターネット利用の低年齢化

【青少年のインターネット利用率(子ども回答)】



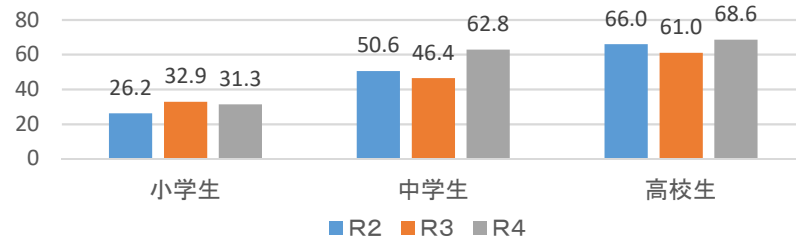
【スマートフォン(自分専用)の所持率(子ども回答)】



- ・小学生の90%、中学生・高校生のほぼ全員がインターネットを利用し、全世代でインターネット利用が必須なものとなっている
- ・小学生のスマートフォン(自分専用)所持率も、徐々にではあるが、増加をしている

3 インターネット利用の長時間化

【平日の利用時間が2時間以上の割合(子ども回答)】



- ・前年度と比較して、小学生はわずかに減少している
- ・中学生と高校生は昨年度はともに減少が見られたが、今年度はともに増加
- ・中学生は15ポイント以上増加している

4 自画撮り被害の状況

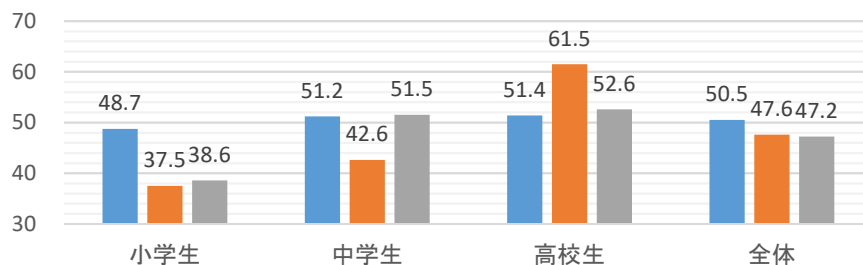
【裸や下着のやりとりの経験(子ども回答)】

	中学生	高校生	計
送ったことがある	1人	4人	5人
写真を要求されたことはあるが送っていない	8人	21人	29人

・「これまでに自分の裸や下着姿の写真を他人に送ったことがあるか」との問いに、今年度は中学生1人、高校生4人と答えた。(昨年度、中学生・高校生ともに0人(子ども回答))
 ・「写真を要求されたことはあるが送っていない」と回答したのは、中学生8人、高校生21人(R3年度:中学生11名、高校生15名。)
 ・保護者は、自分の裸や下着姿の写真を他人に送ったことのある質問で、小学生1人、中学生が1人と回答している

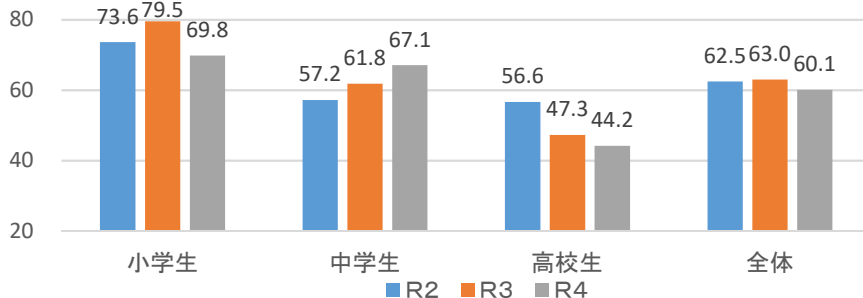
5 フィルタリングの利用状況及び家庭のルールの有無

【フィルタリングの利用率(保護者回答)】

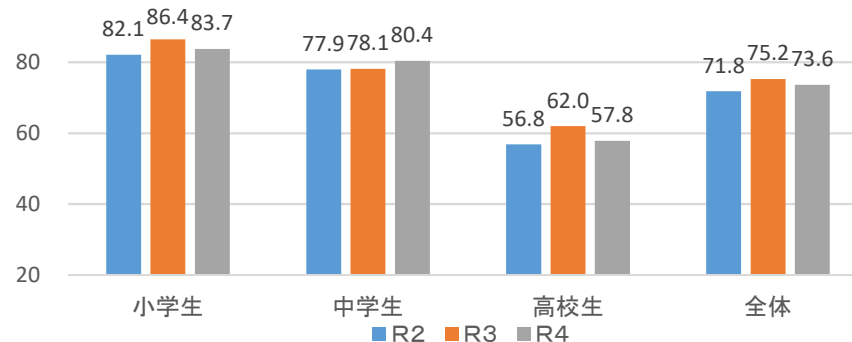


・フィルタリングの利用率は、小学生で微増、中学生で増加、高校生で減少となっている。
 ・家庭のルールの有無について、中学生では増加しているが、小学生と高校生で減少している。
 ・家庭のルールの有無について、子どもと保護者に認識の差がある。
 ・保護者の方がルールがあると回答した割合が高い。

【ルールがあると回答した割合(子ども回答)】



【ルールがあると回答した割合(保護者回答)】



6 調査結果を受けて

- ・インターネット利用の低年齢化が進み、低年齢の子どもたちにネット利用の長時間化が見受けられます。
- ・保護者の方は、子どもたちが違法・有害な情報に触れる機会をなくすため、子どもたちの成長や利用状況に応じたペアレンタルコントロールをしましょう。
- ・また、スマホの使い方についても、保護者と子どもたちが話し合い、「家庭のルール」をつくりましょう。

大分県のHPに、安全安心にスマホやネットを使うための情報を掲載していますので、一度ご確認ください ⇒

